



日本発。世界発。「空における新たな産業革命」
民間ドローン（無人航空機システム）産業の国際展示会&国際コンファレンス

「ジャパン・ドローン 2016」 イベント内容、出展企業、講演スピーカー決定

会期：2016年3月24日（木）・25日（金）・26日（土） 会場：幕張メッセ
主催：一般社団法人UAS産業振興協議会 共催：株式会社コングレ/株式会社スペースメディアジャパン

国内外のドローンの最新情報、活用法、技術などを幅広く紹介
最新のIT技術から撮影・放送、調査、農業、警備・セキュリティ、物流、
土木・建設、災害対策から法制度、教育、娯楽まで
パブリック Day（一般公開日）3月26日（土）のチケットは各プレイガイドにて販売中



ジャパン・ドローン 2016 運営事務局は、このたび、単独開催としては日本初の民生用・商業用ドローン（無人航空機システム）産業の国際展示会「ジャパン・ドローン 2016 - Expo for Commercial UAS market -」で開催される国際展示会への出展企業、国際コンファレンスの各講演内容と講演者および2016年3月26日（土）に開催されるイベントの内容が決定いたしましたので、お知らせいたします。

また、パブリック Day（一般公開日）となります3月26日（土）のチケットは、1月22日（金）午前10時より各プレイガイドにて発売となりました。

3月24日（木）から25日（金）までの2日間開催される国際コンファレンスの主な内容として、基調講演では、ヨーロッパのUVS International（国際無人機協会）、米国連邦航空局（FAA）の講演も予定されております。また、特別講演では、経済産業省や国土交通省の専門担当官による講演のほか無人航空機システム（UAS）の航空管制について、一般社団法人日本UAS産業振興協議会（以下、JUIDA）をはじめ国内外の専門家によるパネルディスカッションが行われます。有料コンファレンスでは、「ドローン・テクノロジー」、「安全運用の仕組みと今後の課題」、「ドローン開発と研究」、「ドローンのビジネス活用」などのテーマを軸に、航空法改正による影響からドローンと農業、撮影、警備・セキュリティ、災害対策、測量などについて、また、IT、ビッグデータとの関係、バッテリーやセンサーなどの最新技術、ドローンに関する教育など幅広い分

野について自治体の首長、日本マイクロソフト株式会社、千葉大学や芝浦工業大学など産官学の専門家による講演が行われます。

最終日 3月26日(土)に開催が予定されているイベントには、過去1年間に発売、発表されたドローン製品やサービスを表彰する「Best of Japan Drone」(ベスト オブ ジャパン ドローン)の発表やドローンによる空撮映像を使用した優秀作品の発表と表彰式「Drone Movie Contest 2016」(ドローン ムービー コンテスト 2016)、日本最大級のFPV*ドローンレース「Drone Impact Challenge」(ドローン インパクト チャレンジ Drone Impact Challenge 実行委員会主催 <http://dichallenge.org/>による「ドローンレース in Japan Drone 2016」などがあります。

*FPV:ファーストパーソンビュー

FPVとはFirst Person View(一人称視点)の略。ラジコンやドローンにGPSアンテナ、カメラ、送受信機を付けて、リアルタイムに流れてくる映像を見ながら操縦出来るので、まるでドローンに乗っているかのような感覚を得られる。また、映像が手元で確認できるため、操縦失敗が少なくなる。

ジャパン・ドローン 2016 について

<開催概要>

名称: Japan Drone 2016

(ジャパン・ドローン 2016) -Expo for Commercial UAS market-

会期: 2016年3月24日(木) ~ 26日(土) 10:00 ~ 17:00

会場: 幕張メッセ

主催: 一般社団法人 日本 UAS 産業振興協議会 (JUIDA)

共催: 株式会社コングレ、株式会社スペースメディアジャパン

協賛: 日本産業用無人航空機協会、ミニサーベイヤーコンソーシアム Next、

セキュアドローン協議会、Drone Impact Challenge 実行委員会、

ドローン撮影クリエイターズ協会、日本ラジコン無線工業会、日本航空学園 (順不同)

特別協力: 米国 AUVSI、欧州 UVS International (順不同)

後援: 経済産業省、国土交通省、内閣府地方創生推進室、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構、千葉市 (一部申請中・順不同)

来場者数: 8,000人 (予定・登録者数)

来場対象: ドローンを活用したい産業分野のビジネスパーソン (政府機関、地方自治体、撮影・放送、警備、物流、調査、建築・土木、研究機関など)、ドローンのサービスを活用したいビジネスユーザー他

なお、パブリック Day (一般公開日) となります 3月26日(土)のチケットは、1月22日(金)午前10時より下記プレイガイドにて発売となります。

■チケットぴあ / Ticket Pia (Pコード / P Code: 990-087)

<http://t.pia.jp/pia/event/event.do?eventCd=1559518>

■イープラス / e+ (パソコン / スマートフォン / 携帯共通)

<http://sort.eplus.jp/sys/T1U14P0010163P0108P002178584P0050001P006001P0030001>

■楽天チケット / Rakuten Ticket <http://ticket.rakuten.co.jp/event/exhibition/RTCGJDR>

■CNプレイガイド / CN Playguide <http://www.cnplayguide.com/evt/evtdtl.aspx?ecd=CNI12559>

■カンフェティ / Confetti <http://www.confetti-web.com/detail.php?tid=32689&>

■ローソンチケット / Lawson Ticket (Lコード: 35233) (1/30(土)販売スタート) <http://l-tike.com/>

<1> 国際展示会

〈出展企業のご紹介：2016年1月20日時点 82社・団体〉

【国内】（五十音順）

IQI、会津大学、アサヒ電子、アドファイブ、アローセブン、イージステクノロジーズ、MTS&プランニング、エヌ・ティー・エス、エンルート、オーム社、学研プラス、兼松エアロスペース、空撮技研、クリスタルテック、CLUE、Global Information、経済産業省 製造産業局 産業機械課 ロボット政策室、構造計画研究所、晃洋設計測量、五光物流、サイトテック、シーズプロジェクト、ジェピコ、静岡理科大学、準天頂衛星システムサービス、情報科学テクノシステム、情報通信研究機構ワイヤレスネットワーク研究所、自律制御システム研究所、セキュアドローン協議会、ゼンリン、総合警備保障、ソリトンシステムズ、田中電気、DJI Japan、東京航空計器、Drone Impact Challenge 実行委員会、ドローン撮影クリエイターズ協会、Drone.jp、Drone Magazine、Drone Media、内閣府 地方創生推進室、日本航空学園、日本サーキット、日本産業用無人航空機協会、日本 DMC、日本電気、日本 UAS 産業振興協議会、日本ラジコン電波安全協会、日本ラジコン模型工業会、東日本電信電話、日立マクセル、ヒロテック、フォーラムエイト、フカデン、ふじのくに SKY イノベーション、双葉電子工業、ブルーイノベーション、ヘキサメディア、舞子リゾート、マルチコプターラボ、ミツイワ、ミニサーベイヤーコンソーシアム Next、ミヤマエ、ランサーリンク、リーグルジャパン、リコー

【海外】（アルファベット順）

Amimon Japan、Autel Intelligent Technology、Carbon-Based Technology Inc. /UAVER、Cella Energy、DROGEN、Drone Rangerz、EISAN、ESV、General Atomics Global Corporation、Johnnete Technologies、JS Batterist、Korea Drone Association、Lind Electronics、MicroPilot、SimActive、Yunec International



Mark Reeves 氏

<2> 国際コンファレンス（基調講演 / 特別講演：無料）

〈基調講演内容・スピーカーのご紹介〉

■「UAS マーケットのこれから～世界からの見方～」

スピーカー：Peter Van Blyenburgh 氏（UVS International 〈国際無人機協会〉）

■「米国の安全基準とドローン市場の今後」

スピーカー：Mark Reeves 氏（米国連邦航空局 アジアパシフィックオフィス ディレクター）

■「Dronecode - オープンプラットフォームのドローン開発について（仮）-」

スピーカー：Randy Mackay 氏（JapanDrones, ArduPilot）

〈特別講演内容・スピーカーのご紹介〉

■「無人航空機に関する安全ルールと整備の取組について」

スピーカー：松本 大樹氏（国土交通省 航空局安全部 安全企画課長）

■「ロボット革命」に向けたフロントランナーとしてのドローン

スピーカー：佐脇 紀代志氏（経済産業省 製造産業局 産業機械課長）

※一部のみの掲載となります。また、掲載されている内容は変更となる場合がございます。

※その他講演やセッション内容、開催日時につきましては、決まり次第ホームページに掲載させていただきます。（<http://japan-drone.com/>）



松本 大樹氏



佐脇 紀代志氏

<3> 国際コンファレンス（有料）

国内外からドローン有識者の方々をお招きし、ICT 技術を含むドローンの紹介や、その様々なドローン関連の事例をご紹介していただきます。また、産業育成のための問題点などについての講演も予定しております。

■「開発用テストフィールドと国家戦略特区」

スピーカー：門脇 光浩氏（仙北市長） / 熊谷 俊人氏（千葉市長） / 藤原 豊氏（内閣府地方創生推進室次長）

■「3D マッピング技術とドローン」

スピーカー：中川 雅史氏（芝浦工業大学 ジオインフォマティクス研究室 教授）

■「ドローンパイロットの養成教育と検定について」

スピーカー：水野 宏一氏（日本航空学園 / 公益財団法人 JAA 人間力育成協会専務理事）

■「シリコンバレー商業ドローン最前線」

スピーカー：小池 良次氏（Contents Dotcom ジャーナリスト / リサーチャー）

■「ドローンと IT。二つの産業革命の未来と可能性を探る」

スピーカー：西脇 資哲氏（日本マイクロソフト株式会社 エバンジェリスト（業務執行役員））

■「ビッグデータの活用とドローン」

スピーカー：嶋田 悟氏（エアロセンス株式会社 取締役 事業推進担当）

※一部のみの掲載となります。また、掲載されている内容は変更となる場合がございます。

※その他セッション内容や開催日時につきましては、決まり次第ホームページに掲載させていただきます。

（ <http://japan-drone.com/> ）



門脇 光浩氏



中川 雅史氏



水野 宏一氏



西脇 資哲氏



嶋田 悟氏

<4> Best of Japan Drone 表彰式

■Best of Japan Drone 表彰式

過去1年間に発売、発表されたドローン製品やサービスを表彰いたします。

■Drone Impact Challenge presents ドローンレース in Japan Drone2016

Drone Impact Challenge 実行委員会が主催する日本最大級のFPV ドローンレース。Drone Impact Challenge 実行委員会は、航空法、電波法等規制に準拠し、「安全を徹底して追求し、信頼される組織」を目指します。レースは中級者クラスと上級者クラス、2つのカテゴリーで争われます。

<http://dichallenge.org/>

■Drone Movie Contest 2016

デジタルハリウッド ロボティクスアカデミーと JUIDA が主催するドローンによる空撮映像を対象にした映像コンテスト。安全ガイドラインに則った、ドローンによる優れた映像作品を生み出すことを目的としています。

<http://www.dhw.co.jp/robotics/contest/>

* 本リリースに記載しております出展企業、講演スピーカー、イベント内容等は当日変更となる可能性がございます。予めご了承ください。

<ジャパン・ドローン 2016 に関するお問い合わせ先>

Japan Drone 運営事務局

〒102-0083 東京都千代田区麹町 5-1 弘済会館ビル 2F

(株) スペースメディアジャパン内

TEL: 03-3512-5672 FAX: 03-3512-5680

E-mail: japan-drone@smj.co.jp

<本リリースに関するお問い合わせ先>

Japan Drone 広報事務局

〒151-0051 渋谷区千駄ヶ谷 3-13-7 原宿 OM ビル

(株) アクティオ内

TEL: 03-5771-6426 FAX: 03-5771-6427

E-mail: jdrone2016@actioinc.jp

主催団体について

●一般社団法人日本U A S産業振興協議会について

一般社団法人日本U A S産業振興協議会（略称J U I D A : Japan UAS Industry Development Association）は、近年飛躍的な発展を遂げている無人航空機システム（U A S : Unmanned Aircraft System）の、民生分野における積極的な利活用を推進するとともに、U A Sの応用技術の研究開発、安全ルールの研究、人材育成、環境整備に努め、U A S関連の新たな産業・市場創造、健全な育成と発展に寄与するために、非営利・中立の立場でさまざまな活動を行っている。理事長は航空工学の権威であり、東京大学大学院教授の鈴木真二が就任。設立は2014年の7月。現在、正会員・賛助会員等の会員数は約250を数えている。

連絡先：一般社団法人日本UAS産業振興協議会（ブルーイノベーション株式会社内）

東京都千代田区神田錦町 3-16-11 エルヴァージュ神田錦町 4F

TEL : 03-5244-5285（受付／土日祝日除く 9:00～17:00） FAX : 03-3293-8802

URL : <http://uas-japan.org/>

●株式会社コングレについて

1990年創立。国際会議をはじめとした我が国のコンベンション業界のリーディングカンパニー。2008年G8北海道洞爺湖サミット、2012年IMF・世界銀行年次総会といった大規模な国際会議の運営をはじめ、上海・ミラノ万博等の展覧会のアテンドスタッフや学術会議運営、企業イベントのプロデュースなど幅広い業務を担当している。また大阪に自社コンベンション施設「コングレコンベンションセンター」を2013年春にスタートさせ、ソフトだけでなくハード（施設）の運営事業分野へも進出している。

連絡先：株式会社コングレ 東京本社

東京都千代田区麴町 5 - 1 弘済会館ビル

TEL : 03-5216-5551（受付／土日祝日除く 9:30～17:30） FAX : 03-5216-5552

URL : <http://www.congre.com/>

●株式会社スペースメディアジャパンについて

1986年国際展示会の運営会社として設立し、2000年にコングレのグループ会社となる。海外とのネットワークを活かし、国内の大規模国際展示会（スーパーマーケット・トレードショー、NIKKEI MESSEそして東京ゲームショウなど）の海外事務局を担当。主催事業も手掛けており、有機農産物や有機化粧品などをテーマにした「オーガニック EXPO together with BioFach Japan」を東京ビッグサイトで毎年開催している。今回のイベントでは全体の運営事務局を担当する。

連絡先：株式会社スペースメディアジャパン

東京都千代田区麴町 5 - 1 弘済会館ビル

TEL : 03-3512-5670（受付／土日祝日除く 9:30～18:00） FAX : 03-3512-5680

URL : <http://www.smj.co.jp/>